

## 6位「一度きりの人生」

クシタル・アルーケ

キルギス国立総合大学国際関係東洋学部 3年



私たちはこの世に一回だけ生まれ、生きていきます。全力を尽くしても、何をしても人生は一回だけです。人の人生はどうでしょうか？たぶんいいことだけではないでしょう。でも、生まれてから自分の人生を楽しく過ごすことを考えていると思います。

私が大好きな韓国の「応答せよ 1988」というドラマがあります。主人公の青年の「私を支えるために神様がお母さんをつくってくれた。」というセリフから、お母さんが彼といつも一緒にいたり、支えてくれたりすることがわかります。そのセリフを聞いて、母のことを思い出して、いろいろ考えました。

私の母はきれい好きでやさしい人ですが、私たち娘二人にとっては厳しかったです。母は24歳のときにすでに二児の母になりました。他の人から見れば、母はとても幸せに見えると思います。しかし私は、母の人生はそんなに楽しくないのではないかと思います。

ある日、家事のことで母にしかられました。そのときは私も怒ってしまい、思わず母に口答えしてしまいました。母に、「どうして私にそんなことを言うの？せっかくあなた達を育てて、二人のためにいろいろなことを放棄したり、自分を犠牲にして、あなたたちの生活のために多大なことしたのに、私を理解してくれていないし、関心もない!」と言われました。そのあと、私はしばらく母と話しませんでした。確かに母に口答えをするべきではなかったと後悔しました。しばらくして、母にこう言いました。「私たちのためにいろいろしてくれてありがとう!私たちはもう大人になったので、これからは、お母さん、自分のために生きてください。私たちのことを考えるのをやめて、好きなことをしてください。人生は一度きりですから、楽しく過ごしてください。」母は私の話を聞きましたが、その後も私と話しませんでした。しばらくして、母と仲直りしました。母とのけんかあと、私は人生についていろいろ考えました。

人々は自分の人生について考え、自分のために行動すると思います。ですが、子どもが生まれれば母親という立場をだれも変えることはできません。母親は子どもを産んで、育てて、教育も与えるのです。では、私の母は自分のためにいつ頑張るのでしょうか。母も一回だけ生まれ、一回だけ生きていきます。

今、私は大学で勉強していて、将来好きな仕事につきたいと思い、自分のためにとても努力しています。しかし、私の母は違います。母は自分のために、いつ生活することができるのでしょうか。自分のために生活しようとしても、家庭の影響で自分のことをするのはむずかしいです。いそがしすぎて、時間もないし、力もでないと思います。そうになると私たちは母のために何ができるのでしょうか。母に、「これはお母さんの人生です。楽しく生きてください。」と言えるのでしょうか。そのために私たちができることは、母を支えていくことだと思います。母を支え、母が自分のために好きなことができる時間をつくれるように協力する必要があります。

みなさんの中には、自分が大人になってから親孝行しようと考えている人もいるかもしれませんが。しかし、大人になってから本当にできるのでしょうか。

それはだれにも分かりません。だから、すぐにできることがあるなら、すぐにしてください。そして、楽しいことをしたいと思ったら、その日に行動してください。毎日を最後の日だと思って生きてください!私たちの人生は一度だけですから!